

産廃処分場反対  
赤穂市民の会  
第13号



# 市民の会だより

発行責任者  
連絡先  
勝田 三好  
080-1424-8435

## 産廃最終処分場建設反対 赤穂市民の会理事会開く



赤穂市民の会は、5月31日赤穂市民会館において2024年度第1回理事会（総会）を開催しました。

理事会では、福浦採石場跡地を管理する事業者が、跡地のくぼ地を普通の建設残土で埋め戻す5ヶ年計画（2021年8月～2026年8月）を県から認可されているが現在に至っても一切埋め戻されていないことを強く抗議する会議となりました。

**採石法守れ!! 採石事業終結は 安全な建設残土で埋戻し植樹緑化」**  
**産廃処分場は論外／止めよ**

この業者に対し、赤穂市民の会や鶴和自治会等から「申請通り埋戻し緑化し採石事業を速やかに終了すること」等の意見書提出の報告がありました。しかし、この業者は、県民局土木課からも「早期、埋め戻しの履行」を促されているが、産廃事業に固執し、不誠実な対応しかしていません。

一方、理事の中から「赤穂市の反対の立場は、分かるが、行政の動きが伝わってこない」等の意見が出されました。

当面の活動として、「瀬戸内海の現状と赤穂市の未来」をテーマにした講演会（8月）の開催を確認しました。

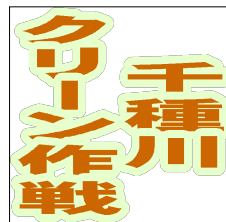
### 「来賓の方々が産廃処分場建設反対の発声」挨拶

この理事会（総会）には赤穂市長、市議会正副議長、議員連盟代表、自治会連合会長、各種団体代表（理事）等がオール赤穂として揃いました。また、県会議員、隣接する上郡町から上郡町長、備前市から副市長、上郡産廃問題対策協議会長らが来賓として出席。県会議員から、「最後まで反対の輪を広げて行きますよ」赤穂市長から、「2市1町で引き続き連携して反対していく」備前副市長から「福浦産廃計画反対の意見書を兵庫県に提出した」上郡町長から「住民投票で8割が産廃計画に反対」上郡協議会長から「市民の会に連帯していく」と、それぞれの挨拶を頂きました。

総会閉会にあたって、赤穂市民の会勝田会長が「長い闘いになるでしょうが、事業者が計画を断念するまでみんなで連携団結して頑張りましょう」と締めくくりました。



不法投棄?



1時間で大量のごみ収集

（赤穂市民の会）西はりまの自然をまもる会の皆さんが、中山井堰下河川敷でごみ収集を行いました。（2月）「土砂混在ゴミ」の山もありました。兵庫県や市当局の対応を求めます。

### 川や海を汚さないで



赤穂唐船浜

毎年4月22日の世界アースデイに合わせて（赤穂市民の会）赤穂里うみカヤックは、唐船ビーチの清掃を行っています。「海岸清掃を行うことで、海ごみに対する意識の向上・啓発となり自然の景観を取り戻すことができます」として活動を継続しています。